

クラス番号	344	担当教員名	川島ゆり子
		他専修学生受入上限人数	3名
テーマ	社会的孤立に挑む―地域のなかでのつながりが生み出す支え合いの力―		

ゼミナール概要

目的、内容、方法等：

地域の中で、助けを求めることもできずに周囲から孤立しているケースがとて多くなってきました。それに対して「それはあの人の問題だから」「自己責任じゃないの？」という声があるのも事実です。でも、本当に「他人（ひと）事」なのでしょうか。私たち一人ひとり、誰しもつらい立場になったり、助けてと声を出せない状況になったりする可能性があるのではないのでしょうか。

このゼミでは、一人ひとりの、孤立し生きづらさを抱える人を地域で支えていくための「個別の支援」と、その人の暮らし丸ごとささえていくための「地域づくりのための支援」の連動性について考えていきたいと思います。

貧困の中で育つ子どもたちとその家族、介護が必要な家族を支えながら地域でのつながりを失っている介護者、働くことができず家に引きこもってしまっている中高年の方など 地域の中で孤立している人に対するアプローチを、文献研究と実践の双方を通じて学んでいきたいと思います。実践の面では各市町の社会福祉協議会およびサポートちたと連携し、地域でのフィールドワーク活動をゼミとして取り組んでいきます。

授業計画： 以下の力を身に付けていくことを目標とします。

- ① テーマについて書かれている文献資料や統計資料を集め、読み込んでいく力をつける
自分が知りたいことについて、何を見ればよいか、どのようにそれを理解すればよいか という力をつけていきます。
- ② 情報をまとめて、整理する力をつける
資料を集めても、ただ並べるだけでは相手を説得することはできません。ホワイトボードにまとめる、文章にまとめる。パワーポイントにまとめるなど、情報を「見せる」力をつけていきます。つながる力をつける
- ③ つながる力をつける
何が必要か、どうすればよいかを考えることができたとしても、それを自分一人の力で進めていくことは難しいことが多く、人と協力しながらチームをつくる力をつけていきます。

授業計画：

- 3 年生前期： 社会的孤立の現状を、さまざまな事例や映像資料、文献などによって学びます。またテーマを決めてグループでの研究・発表も行い、また知多半島の各市町でのフィールドワークの企画を進めます。
- 3 年生後期： それぞれの関心が高まってきたテーマを選び、ゼミ内での発表・ディスカッションを進めます。市町社協の福祉教育に関わる実践、知多半島の各市町の「居場所」フィールドワーク等に参加します。
- 4 年生前期： 進捗状況をゼミ内で確認し合いながら、卒業論文の執筆を計画的に進めていきます。
- 4 年生後期： 10 月までには卒論を完成させ、国家試験合格に向けて模擬問題にも取り組み準備していきます

担当教員からのメッセージ



ゼミでは、「人とのつながり」「地域とのつながり」を楽しめることを目標にしたいと思います。

卒業論文の指導は「厳しくもやさしく！」をモットーに、ゼミ全員が協力し合いながら卒業論文を書き上げることを支援したいと思います。論文作成は決して楽ではありませんが、だからこそ学びがあります。

勉強し、遊び、時には一緒にフィールドにも出かけましょう。エントリーシートには自己紹介もかねて、ゼミで何を学びたいか 何を期待するかを書いてください。